



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社ノザワ
コード番号 5237 URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 野澤 俊也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 金井 一弘

TEL 078-333-4111

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,792	9.5	367	73.7	379	73.0	282	70.1
2019年3月期第2四半期	11,929	10.2	1,397	4.6	1,408	4.8	943	5.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 241百万円 (73.0%) 2019年3月期第2四半期 893百万円 (21.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	24.76	
2019年3月期第2四半期	82.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	26,014	15,551	59.8	1,363.78
2019年3月期	27,495	15,423	56.1	1,352.58

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 15,551百万円 2019年3月期 15,423百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				10.00	10.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	7.7	1,120	51.9	1,100	52.5	800		70.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	12,075,000 株	2019年3月期	12,075,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	671,825 株	2019年3月期	671,750 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	11,403,239 株	2019年3月期2Q	11,403,522 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後さまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結貸借対照表関係)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果により緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦の影響等により、景気は不透明感を強めながら推移しました。建築材料業界におきましては、建設投資は堅調を維持しているものの、技能工不足による人件費の増加等による建設費高騰は収まりを見せず、予断を許さない状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは「やすらぎと安心の創造」のコーポレートメッセージのもと、環境負荷低減と施工現場省力化を実現し、社会に貢献する商品の拡充に努めてまいりました。

発売以来ご好評を得ている当社オリジナルの業界初の省力化工法「アスロックLS工法」に、従来では対応できなかった高層建物への仕様を加え、本年10月に発売いたしました。高耐力クリップ「HZクリップ」を連結する技術を開発することで建物高さ31m以上の高層建物にも「LS工法」が適用可能となり、中低層から高層建物まで幅広く「LS工法」をご採用いただけます。

また、施工現場の作業効率化・現在深刻化している技能工不足に寄与する「アスロック無溶接工法」を2020年1月より発売いたします。従来の工法ではパネル留付けクリップを溶接で固定していましたが、ワンタッチで簡単に取り付けられる「NR金具」を使用することで、アスロックの健全な留付状態を維持しながら溶接工程を省略することができる工法を開発、溶接資格保有者不足への対応と施工効率化に貢献します。

生産部門では、本年5月10日に当社埼玉工場で火災事故が発生しましたが、迅速な復旧に努め、被災設備を除き5月16日に稼働再開し、被災設備を含めた本格稼働を7月7日に開始、「アスロック」の供給能力は火災前の状態に戻っております。販売部門では、当火災の影響等により、「アスロック」販売は前年を下回る状況で推移しました。管理部門では、システムの構築・改善による業務効率化、資材調達安定化に取り組みました。海外事業は、中国国内の景気減速に伴う建築計画の延期・中止等の影響を受け、中国における「アスロック」販売は厳しい状況で推移しました。マインケミカル事業では、ミネラル肥料「マインマグ」は北海道・東日本を中心に伸長し、「マインマグ」売上高は上半期最高を更新しました。

これらの結果、品種別売上高については、主力の押出成形セメント板「アスロック」は、68億67百万円（前年同期比15.2%減少）、住宅用軽量外壁材は12億98百万円（前年同期比8.4%増加）となり、押出成形セメント製品合計では81億66百万円（前年同期比12.2%減少）に、耐火被覆等は4億83百万円（前年同期比24.1%減少）、スレート関連は4億32百万円（前年同期比3.1%増加）となったこと等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は107億92百万円（前年同期比9.5%減少）となりました。

利益面については、上記の売上高の減少に加え前年より続く物流費等の高騰、人件費の増加等により、営業利益は3億67百万円（前年同期比73.7%減少）、経常利益は3億79百万円（前年同期比73.0%減少）となりました。また、火災に関し、特別利益に保険差益5億32百万円、特別損失に火災関連損失6億35百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億82百万円（前年同期比70.1%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ受取手形及び売掛金が18億96百万円減少したこと等により114億36百万円（前連結会計年度末と比較して16億21百万円減少）となりました。固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べその他に表示している繰延税金資産が1億7百万円減少したものの、有形固定資産が3億33百万円増加したこと等から、145億77百万円（前連結会計年度末と比較して1億39百万円増加）となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ14億81百万円減少し260億14百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ火災関連損失引当金が5億4百万円増加したものの、製品補償引当金が17億71百万円、支払手形及び買掛金が4億7百万円減少したこと等から、63億26百万円（前連結会計年度末と比較して18億74百万円減少）となりました。固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ長期借入金が短期から長期への振替により2億45百万円増加したこと等から、41億36百万円（前連結会計年度末と比較して2億65百万円増加）となりました。この結果、負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ16億9百万円減少し104億62百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が1億68百万円増加したこと等から、155億51百万円（前連結会計年度末と比較して1億27百万円増加）となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は46億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億24百万円減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金の減少は25百万円（前年同期は15億15百万円の増加）となりました。これは売上債権の減少額18億6百万円や税金等調整前四半期純利益4億51百万円等の資金の増加要因があった一方、製品補償引当金の減少額17億71百万円や受取保険金（未収）6億45百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金の減少は5億69百万円（前年同期は4億29百万円の減少）となりました。これは有形固定資産の取得による支出5億60百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金の減少は1億17百万円（前年同期は5億17百万円の減少）となりました。これは親会社による配当金の支払額1億13百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、本日（2019年11月8日）公表の「特別利益、特別損失の計上及び第2四半期（累計）の連結業績予想値と実績との差異並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,393,432	4,669,067
受取手形及び売掛金	6,114,255	4,218,013
商品及び製品	528,932	536,469
仕掛品	6,366	14,115
原材料及び貯蔵品	165,148	164,859
未成工事支出金	136,426	253,730
その他	716,814	1,583,561
貸倒引当金	△2,918	△2,822
流動資産合計	13,058,458	11,436,994
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,921,905	2,075,072
機械装置及び運搬具(純額)	1,272,423	1,500,640
土地	6,473,480	6,473,480
建設仮勘定	130,309	84,590
その他(純額)	313,693	311,934
有形固定資産合計	10,111,812	10,445,718
無形固定資産	20,956	18,578
投資その他の資産		
投資有価証券	2,554,901	2,469,075
その他	1,827,804	1,722,101
貸倒引当金	△78,104	△78,104
投資その他の資産合計	4,304,601	4,113,071
固定資産合計	14,437,370	14,577,368
資産合計	27,495,829	26,014,362

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,885,405	3,477,861
1年内返済予定の長期借入金	245,000	—
未払法人税等	59,818	70,259
賞与引当金	237,000	240,000
製品補償引当金	2,107,111	336,045
火災関連損失引当金	—	504,406
その他	1,666,515	1,698,186
流動負債合計	8,200,850	6,326,760
固定負債		
長期借入金	—	245,000
再評価に係る繰延税金負債	1,466,739	1,466,739
退職給付に係る負債	1,960,488	1,982,288
訴訟損失引当金	31,500	31,500
資産除去債務	13,852	13,869
その他	398,536	396,770
固定負債合計	3,871,116	4,136,167
負債合計	12,071,966	10,462,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,470,572	1,470,572
利益剰余金	7,737,091	7,905,379
自己株式	△260,103	△260,150
株主資本合計	11,396,560	11,564,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	762,129	707,371
土地再評価差額金	3,142,030	3,142,030
為替換算調整勘定	277,250	279,162
退職給付に係る調整累計額	△154,107	△141,930
その他の包括利益累計額合計	4,027,302	3,986,633
純資産合計	15,423,862	15,551,435
負債純資産合計	27,495,829	26,014,362

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	11,929,661	10,792,100
売上原価	7,939,270	7,446,788
売上総利益	3,990,391	3,345,312
販売費及び一般管理費	2,593,364	2,977,491
営業利益	1,397,026	367,820
営業外収益		
受取利息	96	204
受取配当金	52,704	52,027
その他	18,265	26,127
営業外収益合計	71,066	78,358
営業外費用		
支払利息	5,439	5,093
売上割引	12,307	13,248
為替差損	17,039	15,937
その他	25,021	31,938
営業外費用合計	59,807	66,217
経常利益	1,408,285	379,961
特別利益		
保険差益	—	532,749
製品補償引当金戻入益	—	198,000
特別利益合計	—	730,749
特別損失		
固定資産除却損	38,484	24,357
訴訟損失引当金繰入額	31,500	—
火災関連損失	—	635,146
特別損失合計	69,984	659,504
税金等調整前四半期純利益	1,338,301	451,207
法人税、住民税及び事業税	439,490	42,410
法人税等調整額	△44,572	126,476
法人税等合計	394,917	168,887
四半期純利益	943,383	282,320
親会社株主に帰属する四半期純利益	943,383	282,320

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	943,383	282,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64,481	△54,757
為替換算調整勘定	2,538	1,912
退職給付に係る調整額	12,207	12,176
その他の包括利益合計	△49,735	△40,668
四半期包括利益	893,647	241,651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	893,647	241,651
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,338,301	451,207
減価償却費	265,834	277,820
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△49	△95
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	43,855	39,340
賞与引当金の増減額(△は減少)	13,000	3,000
製品補償引当金の増減額(△は減少)	—	△1,771,066
火災関連損失引当金の増減額(△は減少)	—	504,406
受取利息及び受取配当金	△52,800	△52,231
受取保険金	—	△645,691
支払利息	5,439	5,093
為替差損益(△は益)	17,299	15,606
固定資産除却損	35,649	101,697
売上債権の増減額(△は増加)	△513,476	1,806,150
たな卸資産の増減額(△は増加)	△33,988	△135,028
仕入債務の増減額(△は減少)	496,455	△450,347
その他	190,180	△307,612
小計	1,805,701	△157,749
利息及び配当金の受取額	52,800	52,231
利息の支払額	△1,700	△1,263
法人税等の支払額	△341,283	80,838
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,515,518	△25,942
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△385,249	△560,336
無形固定資産の取得による支出	△1,280	—
投資有価証券の取得による支出	△3,191	△3,305
その他	△40,181	△6,021
投資活動によるキャッシュ・フロー	△429,902	△569,663
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,422	△3,966
自己株式の取得による支出	△259	△46
親会社による配当金の支払額	△510,729	△113,149
財務活動によるキャッシュ・フロー	△517,411	△117,162
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,885	△11,596
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	561,318	△724,364
現金及び現金同等物の期首残高	5,017,672	5,393,432
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,578,991	4,669,067

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

① 2007年10月1日付で石綿健康障害による労災認定者であり当社グループの事業活動と直接因果関係が認められるものに対する補償制度を導入したことから、将来当該制度に基づき補償負担が発生する可能性があります。

② 2019年5月10日に当社埼玉工場において火災が発生したため、特別損失に火災関連損失635,146千円を計上しておりますが、追加で費用が発生し、連結業績に影響が生じる可能性があります。

2 火災未決算

2019年5月10日に当社埼玉工場で発生した火災により復旧に要した費用等の合計額157,490千円は、保険金が受領できる見込みであるため、火災未決算として流動資産の「その他」に計上しております。

(四半期連結損益計算書関係)

火災関連損失

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

2019年5月10日に当社埼玉工場で発生した火災に起因する損失であり、主として製品納入遅延等に関する損失を計上しております。なお、このなかには、火災関連損失引当金繰入額504,406千円を含んでおります。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別生産実績は次のとおりです。なお、その他の事業の生産はありません。

期別	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	増減
区分			
押出成形セメント製品	5,349,313千円	5,108,283千円	△241,029千円
スレート関連	248,300	234,105	△14,194
その他	66,693	79,959	13,266
合計	5,664,306	5,422,348	△241,957

(注) 1 金額は、製造価格によります。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業のうち、工事の受注実績は次のとおりです。なお、その他の事業の受注はありません。

期別	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
区分	千円	千円	千円	千円	千円	千円
押出成形セメント製品工事	874,053	1,493,205	1,204,789	2,342,001	330,735	848,795
スレート工事	50,950	13,400	57,257	2,680	6,307	△10,720
耐火被覆等工事	771,652	577,292	762,654	746,914	△8,998	169,621
その他工事	221,251	396,668	408,115	382,029	186,863	△14,638
合計	1,917,908	2,480,566	2,432,816	3,473,624	514,907	993,058

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別販売実績は次のとおりです。

期別	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	増減
区分			
建築材料関連事業	千円	千円	千円
押出成形セメント製品関連	9,300,269	8,166,065	△1,134,204
(内、アスロック)	(8,102,908)	(6,867,930)	(△1,234,978)
(内、住宅用軽量外壁材)	(1,197,361)	(1,298,134)	(100,773)
スレート関連	419,702	432,593	12,890
耐火被覆等	636,730	483,205	△153,524
その他	1,551,054	1,690,024	138,969
計	11,907,757	10,771,888	△1,135,868

なお、その他の事業の販売実績は、当第2四半期連結累計期間20,212千円であり、前年同期比1,691千円の減少となっております。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		増減
	金額	割合	金額	割合	金額
積水ハウス㈱	2,310,686千円	19.4%	2,490,059千円	23.1%	179,373千円
伊藤忠建材㈱	1,802,216	15.1	1,806,077	16.7	3,860

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は、上記のとおりです。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。